

強い農業・担い手づくり総合支援交付金成果目標の達成状況等について
(令和2年度当初予算分)

令和2年度に事業を実施した3地区（継続評価地区※）の成果目標に係る令和5年度の達成状況は以下のとおりです。

(単位:経営体、%)

成果目標項目		目標年度 (令和4年度)	令和5年度の 目標達成状況 (上段:計画、下段:実績)	達成率 (%)
目 必 標 須	① 付加価値額の拡大	5	5 4	80%
	② 経営面積の拡大	5	5 4	80%
選 択 目 標	③ 農産物の価値向上			
	④ 単位面積当たり収量の増加			
	⑤ 経営コストの縮減			
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 農業経営の法人化	1	1 0	0%

◆達成状況に関する本県の対応

継続評価地区の4年度目において、事業を実施した3地区が目標未達成となった。

目標未達成の要因は、①付加価値額の拡大については、不慮の事故によりほ場管理ができず、除草にかかる農薬代が増加したこと、②経営面積の拡大については、地域の担い手との調整が不調、③農業経営の法人化については、新型コロナウイルス感染症の流行および物価高騰により、法人化に向けての計画に影響が出たことである。

目標達成に向け、①付加価値額の拡大については、専門家による経営診断を受ける、②経営面積の拡大については、農地中間管理事業や地域計画作成に係る地域の話し合いの場を有効に活用する、③農業経営の法人化については、農業経営・就農支援センターを活用する。

県としても、早期に目標を達成し、事業効果が発現できるよう、適宜、進捗状況を確認していく。

※目標年度(令和4年度)に未達成となり、目標年度経過後も継続して事業評価を実施する地区。